

## 令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立可茂特別支援学校

学校番号	115
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	一人一人が笑顔で主体的に、地域で生活できる力を高める。 一人一人の可能性を最大限伸ばし、生きる力を育て、社会に自立し、心身共に調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成する。
評価する領域・分野	生徒指導
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ等の対応」については、からかい、SNSによるトラブル等事案は様々であるが、早期対応と事後の指導により深刻化せず解決している。</li> <li>・保護者から「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が全問題の87%の評価をいただいたが、一方で「いじめ等の対応」については「わからない」への回答が22%と全問題中最も多い。</li> <li>・全体的に、昨年度よりも評価が高くなっているが、児童生徒との関わり、授業力の向上等、教師としての資質が問われている。</li> </ul>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の命を大切にできる児童生徒を育てるために、年間を通した人権教育等を充実する。</li> <li>・特別活動の充実を図り、児童生徒が主体的に取り組める環境を確立する。</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒支援に関わる分掌（教務、支援センター、進路）と連携し、あらゆる学習活動を通して生徒指導を行う。</li> <li>・全職員による部活動運営、具体的な特別活動計画の作成する。</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育を全校共通の取組として計画的に取り組む。</li> <li>・委員会活動等を定期的実施し、活動の場を設定する。</li> <li>・コロナ禍であるが、感染防止に努めながら児童生徒のコミュニケーションが取れる行事運営を目指す。</li> </ul>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止等、安心して学校生活を送れる環境整備ができたか。</li> <li>・感染防止対策を取りながら、児童生徒会が主体となる特別活動が運営できたか。</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識を育むため、行事ごとに他者を認める「いいとこみつけ」を実施した。</li> <li>・コロナ禍で全校行事は実施が困難であったが、オンラインの活用や、掲示板への寄せ書き方式での「きいて！きいて！」キャンペーンなどを通して児童生徒の意見交流の場を作った。</li> </ul>
評価の視点	評価
① 思いやりの心もち、仲間と共に生き生きと活動し、豊かな人間性を育むことができたか。	A (B) C D
② 児童生徒のわずかな変化をとらえ、あらゆる機会を通した児童生徒理解に努めることができたか。	(A) B C D
③ 安心して学校生活を送れる環境整備ができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
○ いじめ調査は「学校生活アンケート」とし、回答しやすい問いかけで情報収集に努め、いじめにつながる可能性がある事案をつかみ、根絶するまで継続的な指導ができた。	A (B) C D
▲ いじめ対策や事後指導の取組みは、直接対象とならない児童生徒や保護者には	

実感されにくい。 ▲ 児童生徒の増加に加え、感染症対策のためのゾーン分けもあり特別活動については様々な制限があり、十分な環境ではなかった。	
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信やホームページなどを活用して、「いいところ見つけ」等の取り組みの情報発信に努める。</li> <li>・教育目標や教育方針、教育指導の重点等を分かりやすく情報提供する。</li> </ul>

### 学校関係者評価 (令和3年2月8日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <p><b>【生徒指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権活動で行っている、「いいところ見つけ」の取り組みがよい。互いを認め合う事により人を思いやる心を育てることができる。</li> <li>・いじめの認知の基準が難しいのではないかと。外部人材の助言等があるとよいのではないかと。</li> <li>・いじめに関しては、自分の行為が他者の迷惑になっていることを理解していない。</li> <li>・「学校生活アンケート」は、不安な面だけでなく良い面を見つけることができ効果的である。</li> <li>・アンケートの作成にあたっては、将来の何が不安なのか、新型コロナの何が不安なのかなど、不安材料をかみ砕いて示すと良い。</li> </ul> <p><b>【外国児童生徒対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社では外国籍の従業員が多くなっており、必要に応じてポルトガル語や英語で対応している。学校でも外国籍の児童生徒が年々多くなっていると思うが、どれくらいの割合で在籍しているのか。 (回答) 現在通信や保護者懇談で翻訳や通訳を必要とする児童生徒はポルトガル語が約20名、タガログ語が10名、英語が5名、中国語が1名である。</li> </ul> <p><b>【進路支援について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にも関わらず、就職先をほぼ決めることができ、感心した。</li> <li>・作業学習の内容が、就職に直結できない班もあるとのことだが、できるだけ就労内容に近くなるような学習を考えてはどうか。</li> <li>・特に高等部では、責任をもって働くことの大切さを学んでいるところがよい。</li> </ul> <p><b>【感染症対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、新型コロナ感染症対策をよくやっていると思う。引き続き行っていけるとよい。</li> <li>・感染対策のためできないのではなく、できる方法を工夫して教育活動に取り組みされたことはとてもよい。</li> <li>・オンライン活用の取組がよくわかった。</li> <li>・コロナ禍で今までとは違った生活になり、学校は大変だったと思う。教職員も一つ一つの対応を考えることに大変苦労されているのではないかと。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も本校での支援を受けたい保護者のニーズは多くなると思うが、手狭だった校舎に新棟が建設されるということによかった。</li> <li>・登下校時に教職員が道路に立ってくれるため、こちらでも安心して通ることができる。学校に面した道路は、大型車両も多く通るので注意してほしい。</li> <li>・学校祭である「にこりん祭」は、地域の人と触れ合える場である。何とか開催できるようになるとよい。下米田地区の文化祭にも引き続き作品を出してほしい。</li> </ul>
---